

令和 8 年度一般財団法人佐渡文化財団事業計画

I 基本方針

令和 8 年度は、佐渡市文化振興ビジョンアクションプランに基づく第 2 期佐渡文化財団アクションプランを軸とし、佐渡の文化・芸能団体にとって有効な事業を遂行します。

文化財団の設立は行政だけでは解決できない文化財を取り巻く諸問題に向き合うことを目的としています。佐渡の文化を残していくためには、島内の文化団体をネットワーク化し、当財団が各団体と連絡を密に交わしながら情報の集積と更新を担い、現状を把握していく必要があります。

そのため、祭りや芸能を支える人々の数などの調査を丹念に行う活動を実施します。集落ごとの事情を汲み、助けを必要とする声に寄り添い、佐渡の豊かな文化の保存・継承の支援や、島内外の人々が交流できる機会を進めていきます。

取材・調査で得た知見は、記録として保存するだけでなく、ワークショップ開催における新規メンバー獲得に向けた行動の指標とし、また情報発信との連動など、現在の文化団体にとって有意義な活用を目指します。

「佐渡芸能に触れてみる 1 時間」を通じた実演と解説、体験を用意し、文化団体と参加者が直接触れ合う機会を設けて、島内の文化・芸能に携わる人口の拡充・補強に取り組んでいきます。

昨年度まで行ってきた事業のうち、継続・改善が必要な内容を更に力強く押し進めながら、調査と発信を連動させ、課題解決に結び付けていきます。

活動の財源については佐渡市からの補助金依存から漸次自立すべく、賛助会員の拡大や補助金を活用した事業展開など、安定的な財団運営に努めていきます。

II 総務概要

健全で安定的な運営体制の構築

【事業の趣旨・方向性】

これまで不在であった常勤役員（専務・常務）の選任により、安定した財団運営を展開しながら事業を進めていきます。

経常収益の拡充のため、「賛助会員」からの支援など目標値を設定し、それを達成する行動を起こします。

【令和 8 度における具体的業務】
(1) 組織体制の安定化
(2) 収益事業の拡充

(3) 評議員・監事の改選	
【令和8年度における予算額】	23,962 千円
(1) 人件費	22,910 千円
(2) 事務費	1,052 千円

Ⅲ 事業概要

1 伝統芸能の継承者育成

【事業の趣旨・方向性】

伝統芸能団体の継承者育成の土台となる、市内の文化団体・芸能保存会に係る調査、芸能の記録に取り組みます。

【令和8年度における具体的業務】	
(1) 市内の文化団体・芸能保存会に係る調査（情報の更新）	
(2) 記録映像の撮影 集落の祭りや観光祭などで披露される芸能の記録 （神社例祭や門付け、イベント、田植神事、委託された能楽など） 佐渡の文化・芸能に長年携わってきた方へのインタビュー記録 文化的価値のある VHS の発掘・デジタル化・ダビング業務	
【令和8年度における佐渡市文化振興ビジョンアクションプランへの取組】	
(1) 「インターネット配信などを活用したハイブリッド公演」 目標値：6 件	
(2) 「NPO 等の文化振興組織間の情報共有」 目標値：市との連携及び積極的な意見・提案	
(3) 「国民文化祭や県民文化祭の活用」 目標値：団体の出演 3 団体 佐渡の団体へ出演依頼がかかった際の情報周知・参加支援など	
(4) 「個々の伝統芸能保存団体が連携するネットワークを構築する」 目標値：芸能団体の情報の新規収集 30 件	
(5) 「伝統文化の継承等への功績顕著な個人や団体に対する表彰制度の活用及び後継者の支援」 目標値：推薦候補者数 3 人（表彰制度に推薦できる対象リストの整備） ※芸能従事年数、功績などを対象	
【令和8年度における予算額】	18 千円

2 伝統芸能の常設披露にむけた上演の場の創出

【事業の趣旨・方向性】

令和7年度に実施した「佐渡芸能に触れてみる1時間」を継続し、団体単位だけでなく芸能単位でも継承者育成につなげる回を加えます。

【令和8年度における具体的業務】	
常設披露「佐渡芸能に触れてみる1時間」の実施	
【令和8年度における佐渡市文化振興ビジョンアクションプラン取組】	
(1) 「伝統芸能がいつでも誰でも鑑賞できる拠点づくり」 目標値：施設における芸能披露実施数 10件 (常設8件、民謡の祝祭、人形芝居定期公演)	
(2) 「インターネット配信などを活用したハイブリッド公演」 目標値：6件 (1「伝統芸能の継承者育成」の再掲)	
【令和8年度における予算額】	344千円

3 キャリア教育支援及び文化活動担い手育成

【事業の趣旨・方向性】

小学生から高校生まで佐渡の伝統文化に携わる人や物に触れる機会をつくり、文化的キャリア教育を支援していきます。また、地域や団体等と連携しながら新たな文化の担い手作りを行います。

伝統芸能の学習研修会や伝統工芸のワークショップを指導者育成、指導者同士のネットワーク形成の場とし、それぞれの養成に努めます。

【令和8年度における具体的業務】	
(1) 学校、一般等への和楽器等貸出	
(2) 地域や企業との文化連携の枠組みの構築、文化の担い手育成	
【令和8年度における佐渡市文化振興ビジョンアクションプラン取組】	
(1) 「幅広い分野を幅広い世代が学ぶことができる学習機会の提供」 目標値：市民の学びの場の提供 財団が主催する講習会、研修会等と兼用	
(2) 「佐渡文化財団の行う伝統芸能等のワークショップの実施」 目標値：ワークショップ等の実施 12件 財団が主催する講習会、研修会、ワークショップと兼用	
(3) 「佐渡学のアウトプットの場の設定」 目標値：市と調整し、実施。 ⇒佐渡人形芝居親子教室のお披露目会の場など	
(4) 「子どもが触れる伝統文化親子教室の創出・充実」	

目標値：伝統文化親子教室の実施 2件 佐渡人形芝居親子教室の実施、おけさ笠親子教室の実施。	
(5)「インターネット配信などを活用したハイブリッド公演」 目標値：6件 (1「伝統芸能の継承者育成」の再掲)	
【令和8年度における予算額】	420千円

4 支援会員の拡大

【事業の趣旨・方向性】

佐渡文化財団の認知度向上と賛助会員の増加に向け、定めた目標値に向けて積極的に営業活動を行います。

【令和8年度における具体的業務】	
(1) 既存会員の更新(4月)	
(2) 財団の認知度向上と賛助会員加入促進活動	
(3) 特典の充実	
【令和8年度における予算額】	619千円

5 情報発信の強化

【事業の趣旨・方向性】

佐渡文化の状況がわかるタイムリーな発信と佐渡文化財団の取組について理解につながる発信に努めます。また芸能や伝統工芸品の内容をわかりやすく届ける取り組みをし、実際の上演や芸能・文化への関心に結びつく発信を行います。

【令和8年度における具体的業務】	
(1) 既存のホームページの活用や工夫	
(2) ニュースレターの継続発行	
(3) フォロワー数の増加につながる SNS 発信と充実	
(4) 伝統工芸品等の PR	
【令和8年度における予算額】	102千円

その他

【事業の趣旨・方向性】

自主財源確保及び経営基盤の確立にむけ、佐渡の文化・芸能を活用した受託事業や物販事業の積極的な企画・提案を行い収入の確保を図っていきます。

【令和 8 年度における具体的業務】	
(1) 佐渡人形芝居親子教室（文化庁補助金申請）	
(2) 物販事業、ふるさと納税の活用	
(3) その他、事業費（按分）	
【令和 8 年度における予算額】	1,982 千円